

**東日本大震災を忘れずに、今年も社友会から「桜ライン311」に18万円の寄付を継続しました。**

■ 東日本大震災からの復興を祈って

死者、行方不明者1万8千人を超える犠牲者を出した東日本大震災から4年経ちましたが、福島の原因問題をはじめとする復興はまだまだ道半ばで、私達はこれからも暖かく見守っていきたいと思います。

社友会では震災の2011年6月に1500人を超える社友会員から650万円の義援金の協力を得て日本赤十字に復興支援を委託しました。

2012年は同好会の「歩こう会」を中心に、何らかの支援をしたいという思いから現地に赴き、体験ツアーを実施すると共に、津波到達点に桜を寄贈する「桜ライン311」に皆さまからの協賛金を募り、15万8千円をお渡ししました。

2014年は同好会を中心とした募金に加えて、社友会の新年懇親会でも参加者からの募金で25万8千円を「桜ライン311」に寄付しました。

2015年も同様の活動を継続し18万円を「桜ライン311」に寄付をしました・皆様方の継続的なご支援に感謝申し上げます。

■ NPO「桜ライン311」の活動について

NPO「桜ライン311」は陸前高田市の若者が立ち上げたNPO法人で、陸前高田は2300人の方が亡くなられ、10人に一人が犠牲になる甚大な被害を受け、壊滅状態になりました。

失ったものの大きさ、悲しみ、怒り、悔しさ、絶望感から大震災を後世に伝え、ふるさとに希望と伝承の桜を津波到達点を結ぶ170Kmに1万7千本の桜を植える活動です。

社友会はこの活動を支援してまいります。

詳しくは <http://www.sakura-line311.org/> 又は「桜ライン311」でチェック下さい。



私たちは、悔しいんです。